

# 女子 生光学園 初の栄冠

## 柔道

(鳴門インジヨイ武道館)

【女子】団体予選リーグA組①  
城北(愛媛) 3勝②藍住1勝1敗  
1分け(勝ち数計4) ②香長(高  
知) 1勝1敗1分け(勝ち数計3)  
④善通寺東(香川) 3敗▽B組①  
生光学園3勝②桜町(香川) 2勝  
1敗③久米(愛媛) 1勝2敗④高  
知3敗▽各組上位2校が決勝トー  
ナメントへ。

▽決勝トーナメント1回戦 城  
北1(代表勝ち) 1桜町  
生光学園 2-0 藍住  
○前田 合わせ 大倉  
初世 引き分 近藤  
○鏑山 縦四方 垣内  
▽決勝  
生光学園 1-0 城北  
○前田 背負い 大竹  
投げ

初世 引き分 松本  
鏑山 引き分 上甲  
生光学園は初優勝。

「目標は日本一」

○：女子団体は、全員  
2年生で臨んだ生光学園  
が予選から決勝まで1人

も落とさず、初の四国王  
座に就いた。「目標は日  
本一」と話す選手たちは、  
夢へ向けた第一関門を突  
破してほっとした表情を

浮かべた。

他を圧倒して予選リー  
グを勝ち上がると、決勝  
トーナメント1回戦は、  
県総体決勝の再現となっ  
た藍住戦に2-0で勝  
利。決勝では、先鋒の前  
田主将が開始直後に鮮や  
かな背負い投げで一本勝  
ちし、そのまま優勝を決  
めた。

生光学園は高校に続く  
て2年前から中学校の柔  
道部の強化に取り組んで  
おり、前田主将ら現2年  
生が特待生の1期生。同  
時期に就任した山崎監督  
と共に2年生8人、1年  
生5人が高い目標を掲げ  
て練習に励んでいる。前  
田主将は優勝カップを手  
に「自分たちがいい結果  
を残して学校の名を高め  
たい」と力を込めた。



女子団体決勝・城北対生光学園 背負い投げで一本勝ちした  
生光学園の先鋒・前田(右)